

団交速報(4/28)

デルタ航空 日本支社労働組合
(第9期6号 2016.4.30 発)
<http://majyutu2006.web.fc2.com/>
e-mail: delta.union.jp@gmail.com

< 場所: 神谷町日本支社会議室 時間: 14:00~15:00

会社側: 森本氏 菰田氏 野々村氏 組合側: 上谷、武田、中澤、柿沼>

2016 年度 新労働協約書、一時金（ボーナス）協定 正式調印!

朝晩の冷え込みが厳しくなり、冬の訪れを感じさせた昨年11月から約5か月。

例年より早く開始された2016年度春闘労使交渉でしたが、4月に入りようやく大詰めを迎え、前回の団交で「仮合意」。そして本日4月28日、晴れて正式調印となりました。

団交の冒頭、上谷執行委員長が今春闘を振り返り、「これまでに経験したことのない時期、最終的には4月中に締結できたことは非常によかった」ことを伝え、森本支社長より「早期に準備してきたデルタ労組には感謝している」「一方で、調印がここまで遅れてしまったことは申し訳ない」こと等が伝えられ、今後の春闘においても早期締結が望ましいことを互いに確認しました。

現場目線でみたデルタ航空のサービスは？ “全ては顧客満足度向上へ”

調印後は現在ビーチ便に就航している機材を例にあげ、デルタ航空日本地区におけるハード面ソフト面の品質改善点について話し合われました。機内食、機内エンターテイメント等、目に見えるサービスについてはもちろんのこと、森本支社長は現在日本地区で使用されている機材について非常に精通しており、改善点を伝える現場目線の我々の声には真剣に耳を傾けていました。

常に時間に追われているからでしょうか。フロントラインの日々の業務ではこういった顧客満足度やサービスについて話し合い、情報を共有する機会が残念ながら一切ありませんが、部署や職種は違うけれどそれぞれ向かう方向は皆同じなはずで。組織や役職という垣根を越えて、日本におけるデルタ航空として今何が必要なのか等、意見交換ができたことは非常に有意義な時間となりました。

将来の賃金規定変更を示唆!?

本日2年協約を締結したばかりではありますが、森本支社長は本団交の席で将来の賃金規定の変更を含みを持たせる発言がありました。

近い将来、基本賃金や定期昇給および一時金について、なんらかの大きな変更が行われる可能性があるかもしれません。それが私たちにとって良いのか悪いのかは現時点で判断できるものではありませんが、今後の私たちの給与体系が変わる事は十分に考えられるでしょう。提案があった時に慌てるのではなく事前に準備の必要があると感じました。

これからのデルタ労組

財務部より毎月発行されている紙での給与明細について、コストセーブや資源節約の観点からオンライン化へ変更の試みが行われておりますが、ある部署では要点をあまりよく周知徹底されていない点や、各ビジネスリーダーによりその解釈が異なり、説明が不十分のため従業員が困惑していることなどが話題に上がりました。

菰田人事労務部長が団交の席でよく述べられる言葉が「コミュニケーション」。デルタピープル全員が持つべき価値観や意識、考え方などが記載されている **RULES OF THE ROAD** 内にも示されているとおり、デルタ航空社内ではコミュニケーションが非常に重要視されています。

一方の現場サイドでのコミュニケーションの実情はどうでしょうか。縦や横のコミュニケーションがとれているでしょうか。上司によってそれぞれ見解が違う、報告すべき管理職が現場の問題を上挙げていない、または上層部の意見を部下に伝えていない等。

会社の現状や他部門間の話題を把握するのは主に組合活動やデルタネット、メディアでのニュースのみとならないよう、デルタ労組はこれからも森本支社長をはじめとしたリーダー陣と Face To Face で話し合う機会を設け、その内容を仲間に共有していき、社内でのコミュニケーション活性化を図っていきます。

<デルタ労組 今後の予定>

羽田増便について新たな情報を得ることはできませんでしたが、就航が正式に決定すれば、成田減便に伴う職場環境の大幅な変化は避けられないでしょう。

しかしながら、デルタ労組はデルタスピリットやデルタフィロソフィーをもとに、よりよい職場環境構築を目指し、引き続き活動していくことに変わりはありません。

今春闘内容、その他質問、相談、意見等なんでもけっこうです。お気軽に執行委員にお声かけください。E-mail も随時受け付けています。

<デルタ航空日本支社労働組合 <http://majyutu2006.web.fc2.com/>>